



大地



千歳市農業委員会だより
第38号

発行 千歳市農業委員会
発行日 令和7年11月発行
編集

千歳市農業委員会だより編集委員会



- 目 次 -

- 農業委員の推薦及び募集について・・・・・・・・・・ 2 ページ
- 農業委員会事務局 Q & A ○農業者年金・・・・・・・・ 3 ページ
- 令和6年度道内研修報告・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 令和7年度農地パトロールを実施しました
- 千歳市の農地の平均賃料・・・・・・・・・・ 5 ページ
- 新規就農者のご紹介
- 頑張っています！就農後4年目 山口さん・・・・・・・・ 6 ページ
- 事務手数料の変更について ○家族経営協定を結んでみませんか
- 農業委員会事務局の事前予約について・・・・・・・・ 7 ページ
- 全国農業新聞を読もう ○総会開催予定日について
- 編集後記・・・・・・・・・・ 8 ページ



農業委員の推薦及び募集について

農業委員会の委員の任期が、令和 8 年 7 月 19 日に満了となります。
次期の委員を選出するため、下記のとおり委員の推薦・募集を行います。

募集人数	18 名
任 期	3 年間（令和 8 年 7 月 20 日～）
主な業務	○農地法に基づく、審査、許可等の業務 ○担当地区内における圃場利用状況確認 ○農地等の利用の最適化を推進するための業務 ○農家からの相談対応及び助言・指導業務 ○各種会議、研修会等への参加・・・等
資格要件	○農業に関する識見を有し、農地等利用の最適化推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌事務に関し、その職務を適切に行うことができる方 ○市内に住所を有する方等（市内に住所を有しないが、市内で農業経営を行っている方、市内の農業事情に詳しい方を含む） ○千歳市職員ではない方 固定資産評価員及び固定資産評価審査委員会委員、公平委員会委員、教育委員会委員の兼職は法律で禁止されております
身 分	市の非常勤特別職公務員
報 酬	月額：会長 51,000 円 委員：38,000 円 （その他、旅費等は市条例による実費相当額）
募集期間	令和 8 年 1 月 14 日（水）～令和 8 年 2 月 13 日（金）
応募方法	所定の様式に必要事項を記入し、持参又は郵送により提出してください 自薦・他薦のどちらでも可能です（他薦は 3 名以上の推薦、あるいは、団体などの推薦が必要です） ・千歳市農業委員会委員候補者推薦書（第 1 号様式） ・千歳市農業委員会委員候補者申込書（第 2 号様式） 【書類の配布及び提出先】 〒066-8686 千歳市東雲町 2 丁目 34 番地 千歳市農業委員会事務局 （本庁舎 1 階 15 番窓口） 千歳市ホームページからもダウンロードできます 配布のみ、東部支所でも行います （令和 7 年 12 月中に閲覧・配布が可能となる予定です）
選任方法	千歳市農業委員候補者評価委員会において選考を行い、議会の同意を得て市長が任命します

農業委員会事務局 Q & A



Q 農業委員会は何をしているところですか？

A 総会、小委員会、各委員会等の会議のほか、農地を守るために、農地の売買・貸し借り・転用などの業務を行い、現地調査や地元農家の方々の相談に乗っています。

Q 農地を転用したいです。

A 農地に何か建てる場合、自分の所有する農地を農地以外のものに転用する場合は、農地法第4条の申請を、権利を設定し又は所有権を移転しようとするものは農地法第5条の申請をしてください。

Q 農地を借りたい・貸したいです。

A 農家の方が借りたい・貸したい場合には、農地法第3条の許可申請または農地中間管理事業法による権利の設定（農地中間管理事業）の手続きが必要です。
ただし、農地を借りるには農作業従事日数などの要件を満たしていることが必要です。一度、農業委員会事務局までお問合せください。

Q 農地を相続しました。何か手続きは必要ですか？

A 法務局での相続登記に加えて、農業委員会への届出も必要です。

老後の備えは国民年金 + 農業者年金！！

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

- 農業者ならだれでも入れる「**終身年金**」です！
- 一定の要件を満たす方には、月額最大**1万円の保険料補助**
- 保険料は**全額社会保険料控除の対象**など、生涯を通じて大きな節税効果！

お問い合わせは、お近くの農業委員または農業委員会事務局まで

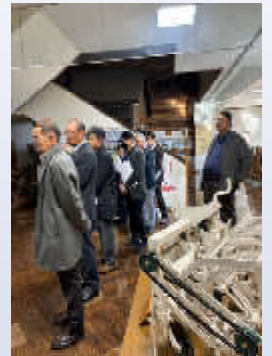


令和 6 年度 道内研修報告 委員 黒澤 譲治

令和 6 年 11 月 14 日～15 日、一泊二日で今年度も道内研修が実施されました。

参加者は、委員 9 名と事務局 2 名、運転手 2 名の総勢 13 名です。

最初の視察先は、上富良野の土の館です。農業における土と耕すことをテーマに設立された博物館で、日本の土壌標本や世界の農機具が多数展示されています。我々の来館に当たり、館長の田村氏は千歳市の今年の気候を調べ、データとして用意してくださっていました。プラウに装着する心土犁（しんどり）の話から始まり、近年大型トラクターの導入で土壌の踏圧が大きくなってきていること、耕運作業を容易に行いうる土の易耕性の話など熱く語っていただきました。



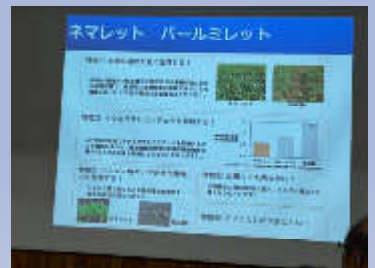
次に訪れたのは、上川生産連の穀類種子調整施設「WHEANS BASE」です。呼称やロゴマークには熱い思いが込められているそうです。荷受設備から出荷設備に至るまでの全工程を見学させて頂きました。



次に向かったのが、1968 年に旭川で創業した農業生産法人谷口農場です。三健農業を理念に、農産物の生産・加工・販売を行っています。農業へのこだわりは強く、土作りを中心に有機栽培の取り組みや、経営を持続化していくための取り組みが多彩でした。SNS での情報発信、従業員間のラインワークスでの情報共有、地域との関わりを大切にする 6 次産業への取り組みなどをされており、今後も新しいことに挑戦していかれるとのことでした。

翌日は、鹿追町環境保全センターの見学から始まりました。酪農の盛んな鹿追町では、乳牛の糞尿を適正に処理するだけでなく生ゴミ、下水、汚泥も有効活用し、観光客や環境にも優しい「バイオガスプラントを中心とした地域循環型の町づくり」に取り組んでいるそうです。余剰熱利用施設（チョウザメ飼育施設・マンゴー栽培施設）の見学もしました。

最後は長沼町にある雪印種苗(株)の北海道研究農場へ。まず牧草の新品種の紹介があり、次に夏場の高温による畑作物の被害対策として植物活力資材、緑肥作物紹介がありました。それぞれの最新の情報や商品の載ったカタログもいただきました。本農場は千歳からも近いので、気になる資材や農業技術の情報などがあれば、気軽に問合せしてみるとよいと思いました。



委員からの質問も多数あり、大変有意義な時間を過ごすことができました。今回お忙しい中、研修に御協力頂いた施設の方々に感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

農地パトロールを実施しました



令和7年8月29日（金）、農業委員19名、関係機関2名、農業委員会事務局5名の計26名による農地パトロールを実施しました。



本年8月の市内の気候は、日中の最高が30を超える暑さとなった日もありましたが、湿度が低く、パトロール当日も過ごしやすい気温の中での実施となりました。対象先としては、6地区9か所(参考として2地区2か所)を巡回し、現地を訪れながら自分たちの目で実情を確認する重要な機会となりました。昨年の調査対象地をベースとしつつ、新規就農者の圃場にも足を運びました。

パトロール結果については、令和7年9月26日（金）の農業委員会総会の前に報告・検討会を実施し、現状の確認や対応方針などを委員全員で共有しました。

今後も農業委員や関係機関職員と連携し、農地等の利用の最適化（担い手への農地集積、集約化、遊休農地の発生防止や解消）に向けた推進を行ってまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



千歳市の農地の平均賃料

農地法第52条の規定に基づく農地平均賃料の調査結果についてお知らせいたします。
（市内平均賃貸借料（10a当たり） 算出金額は実勢価格を用いています。）

田・ 転作田	平均額 （円）	最高額 （円）	最低額 （円）	データ 件数	摘 要
6年度	10,421	13,997	3,922	165	R2年～R6年の5年間平均
5年度	10,547	13,997	3,922	162	R元年～R5年の5年間平均
前年対比	-126	0	0	3	
畑（普通畑）	平均額 （円）	最高額 （円）	最低額 （円）	データ 件数	摘 要
6年度	6,684	10,494	2,536	78	R6年の1年間平均
5年度	6,799	10,205	3,500	116	R5年の1年間平均
前年対比	-115	289	-964	-38	

★新規就農者のご紹介★

お名前・出身地 菊地 博己さん：岩見沢市
菊地 葉瑞季さん：千歳市
就農年月 令和 7 年 7 月
就農所在地 長都



経営内容・規模 200a

営農の感想など

元会社員のライフスタイルから初めての農業経営は、体が慣れるのに時間がかかりました。元ある農業・農地の継承からの観光農園を今後、より発展していく営農計画を考えていき、たくさんのお客様を笑顔にしていきたいと思っています。

頑張っています！★就農後 4 年目 山口さん★

令和 4 年 4 月に新規就農された根志越の山口善之さんにインタビューをしました。山口さんはもともと食べることや自然が好きで、「自分の手で育てた野菜を多くの人に食べてもらいたい」という思いから、就農に至りました。地域の先輩農家の方々から多くを学びながら、現在はミニトマトやトウモロコシ、カボチャを中心に野菜づくりをされています。

就農して良かった点・苦労した点

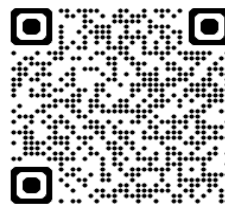
良かった点は、自分の育てた野菜を「美味しかった！」と直接言ってもらえる瞬間です。自然と向き合う仕事なので、天候や気温に左右されることも多く、毎年が挑戦の連続ですが、その分、作物が無事に育ち、収穫できた時の喜びはひとしおです。一方で、天候不順や害虫被害など、どうにもならない苦労もあります。また、収穫・出荷の時期は体力的にも大変ですが、家族や仲間を支えられながら乗り越えています。

今後の展望

これからも安心・安全な野菜をお届けできるよう、環境に配慮した栽培や、旬を感じられるラインナップ作りを続けていきます。また、農福連携の取組も増やせるようにして、地域全体が元気になるような農業を目指したいです。

これから就農を目指す方へのアドバイスを！

外的要因に左右されることも多いですが、やりがいも沢山ある仕事なので、是非千歳市で就農してください。



👉 2024 年 3 月、千歳市の市民協働事業において、千歳の YouTuber「わやっしょ Channel」が山口さんを密着取材しました。

農業委員会で行う事務手数料の変更について

令和 7 年 4 月 1 日より、現況証明書 1 件 1 筆につき 2,500 円の手数料を
いただいております（令和 7 年 3 月 31 日まで、1 件 1 筆 1,500 円）。

現況証明に伴う人件費及び物件費から検証した結果となりますため、ご理
解のほど、よろしくお願いいたします。

家族経営協定を結んでみませんか

家族経営協定とは、経営方針や役割分担、将来の目標などについて家族間の十
分な話し合いに基づき、文書により取り決めるもので家族全員が働きやすい環境
づくりを決めるものです。

協定を締結することで、家族みんなで経営に参画でき、意欲と能力を存分に発
揮できる環境が整備されるため、役割の意識とやりがいが生れます。

ほかにもこんなメリットがあります。

- ・ 農業者年金保険料の国庫補助
- ・ 認定農業者の夫婦共同申請や親子共同申請
- ・ 農業次世代人材投資資金の活用 など

農業委員会事務局の事前予約について

農業委員会では、皆様へのスムーズなご案内と業務の円滑化等のため、窓口
へご来庁の際には、事前にお電話にて相談の日時をご予約いただいた上で窓口
にお越しになられますようお願いいたします。

事前にご予約をされないまま窓口にお越しになられた場合には、相談等の応
対までにお時間をいただく場合や対応が出来ない場合もございますのでご了承
ください。

【お問い合わせ】

千歳市農業委員会事務局管理課

24-3131（代表）

農地に関すること<農地係>

内線：532

農業者年金に関すること<企画振興係>

内線：397



全国農業新聞を読もう！

「全国農業新聞」は、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。

- 農政の動きと関わる経済・経営・農地・地域社会問題等、毎週様々なテーマ
- 最新の技術や農業機械、先進農家の取り組みを紹介
- 全国の農業委員会の活躍を毎週お知らせ
ぜひ一度手に取っていただき、情報収集のツールとしてご利用ください。

✳毎週金曜日発行 B3 版 8～10 頁建

【購読料】新聞本紙 月 700 円（送料・税込）

電子版 月 500 円（税込） クレジットカード払いのみ対応

お問い合わせ先：企画振興係 24-3131（代表） 内線：397



総会開催予定日について

R7.12 月総会開催日	12 月 23 日（火）	● 各申請書の提出期限	11 月 28 日
R8.1 月総会開催日	1 月 29 日（木）	● 各申請書の提出期限	12 月 26 日
R8.2 月総会開催日	2 月 27 日（金）	● 各申請書の提出期限	2 月 6 日
R8.3 月総会開催日	3 月 24 日（火）	● 各申請書の提出期限	2 月 27 日

- 各申請書（農業委員会への提出期限）

農地法第 3・4・5 条、農地利用集積等促進計画関係 等

なお、積雪期間（12 月～3 月）は現況証明交付にかかる現地調査が困難になることから、この間は受付できませんのでご了承願います。

また、買受適格証明については提出期限までに証明願書の提出が間に合わない場合は、当月の総会での審議ができませんので、ご注意願います。

お問い合わせ先：農地係 24-3131（代表） 内線：532

【編集後記】

いつも「農業委員会だより 大地」をご愛読いただきありがとうございます。今号では、新規就農者や就農後の農家さんの声をお届けいたしました。農業を取り巻く環境は年々変化していますが、その中でも地域農業を守り、次世代へつなげていくことの重要性を改めて感じております。

今後も皆様の声を大切にしながら、より身近で親しみのある紙面づくりに取り組んでまいります。

末尾になりましたが、今回の記事作成や取材にご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

本誌「大地」は千歳市のホームページでもご覧いただけます。

（再生紙と植物油インキを使用）